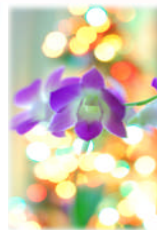


学校だより



アビラ



第1号
(通算164号)

平成28(2016)年4月15日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

世界一楽しい学校を目指して、さらなる歩みを始めます!~平成28年度 着任式・始業式・入学式~

平成28(2016)年度もカラカス日本人学校をよろしくお願いたします! 校長 駒田泰久

学校のあるアティージョの里にも多くの花が咲き誇り、陽ざしもまばゆい、気持ちのよい青空の毎日です。保護者の皆様方、関係者の皆様方には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。4月14日(木)に平成28(2016)年度着任式、始業式、そして2年ぶりの嬉しい嬉しい入学式を挙行いたしました。派遣教員5名、現地採用講師2名、事務職員2名、現地従業員2名(施設管理人・スクールバス運転手)に委託警備員3名を加えた14名の教職員体制(チーム)で、子どもたちの教育に全力であたらせていただきます。

私たちが目指すのは、一昨年、昨年と同じ「世界一楽しい学校」(第三章)です。この目標に、一点の曇りも、ぶれもありません。ただただこのことを目指しています。6人の子どもの口から「学校が楽しい」「先生が好き」「勉強が楽しい」「みんなと遊ぶのが楽しい」「私の学校は世界一楽しい!」…といった心からの言葉があふれる学校です。そのために、私たち教職員はひとりひとりの子どもたちの個性を大切に、個に応じた教育活動を展開します。また、ひとりひとりに堂々と人前でも大きな声で発表できる表現力(プレゼン力)をつけます。人前で堂々と話せる力は、まちがいなく未来に「生きる力」であり、世界に通用する「国際性」です。私たちはこれからの世界を自ら切り拓く「グローバル人材の卵」を大切に育てます。私たちの目指す教育は、そのようなでっかい教育、夢のある教育です。

また、学校にあっては昨年に引き続いて、「開かれた学校」「特色ある学校」を創造していきます。「開かれた学校」…人、もの、情報等が開かれた学校は、活気があり夢があり、「行ってよかった学校」であり、「行かせたい学校」です。特色ある学校行事が行われ、多くの社会人講師が学校を訪れ授業をし、新しい教材・教具・図書が入り、掲示物がどんどん新しく生まれ変わり、学校の様子がホームページや「学校だより」「学部だより」等で生き生きと広く知らされる学校は、大変魅力的な学校、潑刺とした学校です。また、教師ひとりひとりが創意工夫を凝らし、昨年度とはまた違ったアイデアが生まれる学校は、マンネリとはほど遠い「特色ある学校」「魅力ある学校」です。私たちの目指す学校は、そのような豊かな心と新しいアイデアがあふれる学校です。

そのためには、ひとりひとりの教師が自立し、互いに高め合う教師集団でなければならないと考えます。教師が生き生きとした学校、やる気と創意工夫にあふれた学校は、子どもたちにも必然、やる気や主体性を生み出します。「楽しさ」は偶発的、一時的なものではありません。知的好奇心をくすぐる学習の楽しさであり、心から居心地がいいと思える仲間や先生と過ごす時間の楽しさであり、やりきった達成感、成功感から得られる楽しさです。そんな「楽しさ」は、自然に生まれるものではありません。教育という「科学」に携わる教師だからこそ、計画→実践→評価→改善の科学的なサイクルの中で、目標達成のために全身全霊をかけてこそ、達成できる崇高な目標です。全校の子どもたちを心身ともに成長させることが私たち教師の大切な仕事であり、重要な使命(ミッション)であると考えます。「世界一楽しい学校」を目指して、今年一年も「はじめて子どもありき」の精神・姿勢で、ただひたすらに一心に頑張ります。私たちの目指す教師は、そのような誠実でやる気にあふれた教師です。

昨年度は創立40周年記念事業を皆様のご協力を得て、立派に成し遂げることができました。私たちは歩みを止めることはしません。平成28年度(創立41周年目)もまた、昨年度と同様、いやそれ以上の教育を行うことをお約束します。私たちの目指す生き方は、高い目標に向かって常に真摯に前進していく生き方です。どうかそのような教育、学校、教師、生き方にご理解、ご支援、ご協力をお願い致します。